

《 研究主題 》

**確かな学力を身に付けた児童生徒の育成**  
～ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを目指して～



**目標**

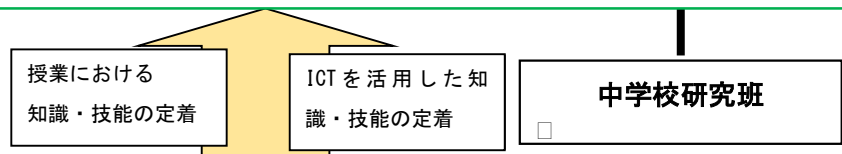
- ICTを活用した主体的・対話的で深い学びを通して、確かな学力を身に付けた児童生徒を育成する。

**研究仮説**

- 授業において各教師が様々なICT機器を活用した授業改善を計画的に実践していけば、児童生徒が主体的・対話的で深い学びを行い、確かな学力を身に付けることができるであろう。

**小学校研究班**

- ・ 情報活用能力についての系統的・段階的な指導の充実
- ・ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践
- ・ 主体的・対話的で深い学びの基礎を育む日常実践
- ・ ICT機器の効果的な活用
- ・ 教師のICT機器活用能力の向上



**知識・技能定着（各学校）**

学習した知識や技能を定着させるための研究・実践

**東方小における主体的・対話的で深い学びの定義**

- 主体的な学び  
学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返って次につなげること。
- 対話的な学び  
児童同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考え方を広げ深めること。
- 深い学び  
習得・活用・探究という学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を生かしながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見出して解決策を考えたり、思いや考えをもとに創造したりすること。

# 研究の実際

## 東方小の児童の実態把握・学びの確認

### NRTテストの分析・情報活用能力チェック

☆ NRTテスト（5月実施）の分析

☆ 学びの確認（NRTテストから、課題である問題に再挑戦）（12月）

☆ 情報活用能力チェックリストによる実態調査（7月、12月に実施）

情報活用能力チェックリスト 4年（7月）

\* 必須

1. あなたの名前を教えてください。

回答を入力してください

2. ゲーム機などが、インターネットにつながることを知っている。\*

よく知っている

だいたい知っている

あまり知らない

全然知らない

○ 低学年 15項目

○ 中学年 23項目

○ 高学年 29項目

○ アンケートアプリを活用（タブレットにて入力）

## 主体的・対話的で深い学びが見える授業デザイン案

令和3年度 東方小学校 授業デザイン案

教科	単元	1けたでわるわり算の筆算（9/10）	日時	令和3年6月1日（火）2時間目
算数	単元	筆算（9/10）	授業者	○○○○
①つけさせたい方は？（本時の目標）		②高めたい情報活用能力は？	③何をする？（①②に対する学習活動）	
簡単な（2けた）÷（1けた）を暗算で計算することができる。		考えるための技法（比較する）を用いて、情報を整理することができる。	①お金を使って暗算の仕方を考える。 ②ペアで暗算を聞き合う。	
④どうやって？（学習活動）		⑤何をを使って？（使うメディア）	⑥実現したい子どもの姿	
つなぐ つかむ	1 本時の問題を確認する。 75円のりぼんを、3人で同じようにお金をを出し合って買うことにしました。1人何円出せばよいですか。 2 本時のめあてを確認する。 （2けた）÷（1けた）の計算を暗算でしてみよう。	電子黒板 デジタル教科書	興味や関心を高める	

「本時の目標」だけではなく「高めたい情報活用能力」を明記

「学習活動」は最低限の項目で

「使うメディア」を明記

「実現したい子どもの姿」（主体的・対話的で深い学びの視点）をピクトグラムで明記

※独立行政法人教職員支援機構（NITS）より引用

## 教師のICT機器活用能力の向上

### 情報スキル研修、普段の職員研修での活用



タブレットPCの研修



タブレットPCを使った話し合い



「WhiteBoard」の画面（画面上におけるKJ法）

※GIGAスクールサポーターにも協力していただいた。

# ICT機器の効果的な活用 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業実践

## メンターチーム（初期研）による事前研・授業実践・事後研

### 初期研修（授業研究）

#### 模範授業

（一人1授業にカウント）

#### 事前研・事後研

#### 研究授業

メンターチーム（初任者・指導教員は研究授業に合わせてチームを移動）

算数・総合チーム

道徳・総合チーム

## 一人1授業の実践

<p>つなぐ つかむ</p> <p>①グラフの提示 （5年）</p> <p>②「問い」をまとめた表 （4年）</p>		
<p>考える 学び合う</p> <p>③書きこみやすいワークシート （1年）</p> <p>④タブレットPCを介した対話 （2年）</p> <p>⑤可動性をいかしたワークシート （3年）</p> <p>⑥オンラインにおける対話 （6年）</p>		
<p>まとめる ふりかえる</p> <p>⑦本時の学習を受けて、自分の考えをまとめる （4年）</p> <p>⑧タブレットでの振り返りシート（提出、返却） （4年）</p>		

# 成果と課題

## 【成果】

### ☆ 授業実践の視点から

- 一人1授業の実践・授業参観・事前事後研…お互いが学び合う場になった。
- 初期研と連携した主題研の在り方が明確になった。

### ☆ 主体的、対話的で深い学びの視点から

- タブレットPCを介して対話をする場面の増加…これにより、理由や根拠を意識して自分の考えを書いたり話したりする児童が増えつつある。
- 教員の自己評価から、以下の項目が向上。

「主体的な学び」
○既習事項を振り返る。
○児童が自分の考えをもつようにする。

「深い学び」
○つけたい力を明確にする。
○目標の達成状況を評価する。

### ☆ ICTの効果的な活用の視点から

- タブレットPCが一人1台に配付されたこと…他学級を気にせず利用可能。
- 6年学級におけるオンライン授業の実施…新しい授業形態の研究の大きな一歩。
- GSサポーターの支援の心強さ。

### ☆ 実態把握・学びの確認の視点から

- 学びの確認において、正答率が伸び、無回答が減…何かしら書こうとする意識の向上。
- 情報活用チェックにおいて、「文字入力」の項目が向上。また、カメラの活用もスキルとして定着している。…タイピングの練習、普段の授業での活用が図られている結果。

課題となる項目	5月 正答通過率%	12月 正答通過率%
故事成語・五十歩百歩	19	31
話し合い・発言の意図	19	68
報告文・感想の共有	19	50

【資料】ある学年の学びの確認の結果

## 【課題】

### ☆ 授業実践の視点から

- 年度後半、メンターチームの機能が低下…事前研・事後研が予定通り行えない状況があった。

### ☆ 主体的、対話的で深い学びの視点から

- 教員の自己評価において、「対話的な学び」について意識が伸び悩む。
- 児童に「主体的、対話的で深い学び」とはどんな学びかきちんと伝える必要性。
- 比較検討の場面において、自分の考えを広げ深めるためのスキルが不足。

### ☆ ICTの効果的な活用の視点から

- 普段の授業でICTをどのように活用しているか共通理解の機会の不足。
- 発表する場面でのタブレットPCの活用は多く見られたが、そこから考えを深める場面での活用の仕方が課題。

### ☆ 実態把握・学びの確認の視点から

- 全体的に算数の得点率の低さあり。
- 条件付きの設問にはまだまだ苦手意識が見られる。
- 「理由や根拠を説明する」「要約」が国語・算数ともにまだまだ課題。
- 情報モラルの指導を今後のタブレットPCの持ち帰り指導につなげていく必要あり。



## 研究同人

上杉 めぐみ	野添 和洋	津曲 健	高岩 恵子	八田 愛花里
中山 裕子	大平落 鈴香	宇藤山 暢	萩原 詩乃	村橋 公洋
	児玉 光造	前田 恵子	水間 和彦	(柘山 晶美)